



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月8日

上場会社名 小田急電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9007 URL <https://www.odakyu.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 星野 晃司 (TEL) 03 (3349) 2526
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 鈴木 智 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	295,648	10.4	23,842	160.9	23,828	192.6	10,967	△31.4
2022年3月期第3四半期	267,732	-	9,137	-	8,144	-	15,985	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 12,242百万円 (126.0%) 2022年3月期第3四半期 5,416百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	30.18	-
2022年3月期第3四半期	44.02	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,284,183	357,821	27.7
2022年3月期	1,285,230	349,257	27.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 355,380百万円 2022年3月期 346,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2023年3月期	-	0.00	-		
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	391,400	9.1	21,600	251.1	19,000	304.3	11,500	△5.1	31.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	368,497,717株	2022年3月期	368,497,717株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	5,117,940株	2022年3月期	5,132,551株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	363,372,159株	2022年3月期3Q	363,176,872株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりです。

2023年3月期第3四半期：120,468株 2022年3月期：137,002株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しています。したがって、実際の業績は業況の変化等により記載の予想とは異なる場合があります。

業績予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。また、当社ウェブサイトでは、決算補足説明資料のほか、「解説付き決算説明資料」ならびに「FAQ (よくあるご質問)」も同日開示していますので、併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う行動制限が解除され、鉄道業やホテル業等において前年同期に比べ利用者数が回復したことなどにより、営業収益は295,648百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は23,842百万円(同160.9%増)、経常利益は23,828百万円(同192.6%増)となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に投資有価証券売却益を計上した反動等により、10,967百万円(同31.4%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

① 運輸業

運輸業では、当社の鉄道事業において、行動制限が解除されたことにより、定期・定期外ともに輸送人員は前年同期を上回りました。以上の結果、営業収益は113,198百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益は10,380百万円(前年同期 営業損失485百万円)となりました。

(当社鉄道事業運輸成績表)

種別	単位	当第3四半期連結累計期間 (2022.4.1～2022.12.31)		
			対前年同期 増減率(%)	
営業日数	日	275	0.0	
営業キロ	キロ	120.5	0.0	
客車走行キロ	千キロ	130,485	△9.4	
輸送人員	定期	千人	294,120	9.9
	定期外	"	198,860	14.7
	計	"	492,980	11.8
旅客運輸収入	定期	百万円	28,741	6.1
	定期外	"	46,818	17.9
	計	"	75,559	13.1
運輸雑収	"	2,268	△11.5	
運輸収入合計	"	77,828	12.2	
乗車効率	%	41.0	—	

(注) 乗車効率の算出方法

$$\text{乗車効率} = \text{延人キロ} (\text{駅間通過人員} \times \text{駅間キロ程}) / (\text{客車走行キロ} \times \text{平均定員}) \times 100$$

② 流通業

流通業では、百貨店業において、利用者数は回復傾向にあったものの、2022年10月2日に新宿店本館の営業終了に伴い売場面積が大幅に縮小したことに加え、ストア・小売業において2022年2月末にベーカリー事業の営業を終了したことなどにより、営業収益は73,138百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は490百万円(同2.8%増)となりました。

③ 不動産業

不動産業では、不動産分譲業において投資用不動産を売却したことや、不動産賃貸業において海老名駅間地区の新規開業物件が寄与したことなどにより、営業収益は64,895百万円(前年同期比4.9%増)となりました。一方、営業利益は、不動産賃貸業において新規開業物件に係る費用が増加したことなどにより、14,894百万円(同6.8%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業では、ホテル業やレストラン飲食業における利用者数の回復等により増収となりました。以上の結果、営業収益は64,046百万円（前年同期比21.3%増）、営業損失は1,957百万円（前年同期 営業損失6,873百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したものの、固定資産の減価償却が進んだことなどから、1,284,183百万円（前連結会計年度末比1,046百万円減）となりました。

負債の部は、社債の償還等に伴い有利子負債が減少したことなどから、926,361百万円（同9,611百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金が増加したことなどから、357,821百万円（同8,564百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想は、営業収益を据え置く一方で、鉄道業や不動産賃貸業における費用削減等を反映したことにより、以下のとおり各利益を上方修正しています。

セグメント別の詳細は、別途開示しています「2023年3月期第3四半期決算説明資料」をご参照ください。

※ 業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しています。したがって、実際の業績は業況の変化等により記載の予想とは異なる場合があります。

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2022年10月28日時点)	391,400	19,600	18,300	10,000	27.52
今回修正予想 (B) (2023年2月8日時点)	391,400	21,600	19,000	11,500	31.65
増減額 (B-A)	0	2,000	700	1,500	
増減率 (%)	0.0	10.2	3.8	15.0	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	358,753	6,152	4,699	12,116	33.36

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,982	35,520
受取手形、売掛金及び契約資産	24,435	22,755
商品及び製品	4,593	3,886
分譲土地建物	36,831	27,921
仕掛品	860	2,004
原材料及び貯蔵品	2,255	2,486
その他	35,191	37,157
貸倒引当金	△607	△460
流動資産合計	125,542	131,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	495,404	487,677
機械装置及び運搬具（純額）	57,656	53,982
土地	474,668	476,088
建設仮勘定	24,899	29,618
その他（純額）	9,501	8,259
有形固定資産合計	1,062,130	1,055,625
無形固定資産		
のれん	1,375	1,168
その他	20,574	19,426
無形固定資産合計	21,949	20,595
投資その他の資産		
投資有価証券	53,675	56,306
その他	23,204	21,657
貸倒引当金	△1,272	△1,273
投資その他の資産合計	75,607	76,691
固定資産合計	1,159,687	1,152,912
資産合計	1,285,230	1,284,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,239	16,638
短期借入金	183,116	195,813
1年以内償還社債	30,010	70,010
未払法人税等	9,440	1,455
賞与引当金	6,440	3,900
商品券等引換引当金	1,724	1,780
その他の引当金	105	66
その他	88,106	126,871
流動負債合計	340,182	416,537
固定負債		
社債	217,005	157,000
長期借入金	259,891	233,663
鉄道・運輸機構長期未払金	59,005	55,645
退職給付に係る負債	13,841	14,460
資産除去債務	1,672	2,208
その他	44,373	46,845
固定負債合計	595,789	509,823
負債合計	935,972	926,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,359	60,359
資本剰余金	58,089	58,089
利益剰余金	215,575	222,836
自己株式	△6,297	△6,261
株主資本合計	327,726	335,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,097	17,876
土地再評価差額金	537	537
退職給付に係る調整累計額	2,501	1,941
その他の包括利益累計額合計	19,136	20,355
非支配株主持分	2,394	2,441
純資産合計	349,257	357,821
負債純資産合計	1,285,230	1,284,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業収益	267,732	295,648
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	200,681	211,869
販売費及び一般管理費	57,912	59,936
営業費合計	258,594	271,805
営業利益	9,137	23,842
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	1,341	1,296
持分法による投資利益	415	1,014
助成金収入	—	※ 793
雑収入	2,418	1,611
営業外収益合計	4,195	4,728
営業外費用		
支払利息	3,659	3,406
雑支出	1,529	1,336
営業外費用合計	5,188	4,742
経常利益	8,144	23,828
特別利益		
固定資産売却益	3,185	1,995
工事負担金等受入額	776	502
投資有価証券売却益	11,881	302
助成金収入	4,564	—
その他	501	45
特別利益合計	20,909	2,846
特別損失		
固定資産売却損	21	54
固定資産圧縮損	725	469
固定資産除却損	411	1,691
特別退職金	670	2,482
その他	225	1,734
特別損失合計	2,053	6,431
税金等調整前四半期純利益	27,000	20,243
法人税、住民税及び事業税	7,226	6,108
法人税等調整額	3,762	3,111
法人税等合計	10,988	9,220
四半期純利益	16,011	11,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,985	10,967

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	16,011	11,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,094	1,597
土地再評価差額金	△10	—
退職給付に係る調整額	△441	△558
持分法適用会社に対する持分相当額	△49	180
その他の包括利益合計	△10,595	1,219
四半期包括利益	5,416	12,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,389	12,187
非支配株主に係る四半期包括利益	26	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。

これによる、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書における(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 助成金収入

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特例措置による雇用調整助成金等の受入額については、「助成金収入」として四半期連結損益計算書の営業外収益に計上しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	97,061	73,381	56,587	40,702	267,732	—	267,732
セグメント間の内部営業収益 または振替高	1,625	1,182	5,293	12,097	20,198	△20,198	—
計	98,686	74,563	61,880	52,799	287,930	△20,198	267,732
セグメント利益又は損失(△)	△485	477	15,984	△6,873	9,103	34	9,137

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでいます。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、経理代行業、保険代理業、企画設計・運営業および人材派遣業

2 セグメント利益又は損失の調整額34百万円は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	111,649	72,170	59,413	52,415	295,648	—	295,648
セグメント間の内部営業収益 または振替高	1,549	968	5,482	11,631	19,631	△19,631	—
計	113,198	73,138	64,895	64,046	315,279	△19,631	295,648
セグメント利益又は損失(△)	10,380	490	14,894	△1,957	23,807	34	23,842

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでいます。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、経理代行業、保険代理業、企画設計・運営業および人材派遣業

2 セグメント利益又は損失の調整額34百万円は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。